

武蔵野市地域福祉計画の概要

基本理念

- 1 地域密着性 … 住み慣れた地域の中で、いつまでも安心して生活できるまちの実現をめざす。
- 2 主体的選択 … 市民が自ら選択し、自ら決定できるシステムの構築をめざす。
- 3 サービスの連携 … 福祉と保健・医療・教育など、各分野との連携強化をめざす。
- 4 自助・共助・公助 … 生活者の視点に立った自助・共助・公助の役割分担に基づく地域福祉をめざす。
- 5 参加と自己実現 … 参加型の地域福祉を見据え、市民一人ひとりの自己実現をめざす。

計画の位置付け

- 1 「武蔵野市第三期長期計画第二次調整計画」を上位計画とし、「武蔵野市高齢者保健福祉計画」、「武蔵野市介護保険事業計画」、「武蔵野市障害者計画」の上位計画として位置付ける。
- 2 武蔵野市民社会福祉協議会が策定する、市民の活動計画としての「武蔵野市地域福祉活動計画」と相互に連携を図る。

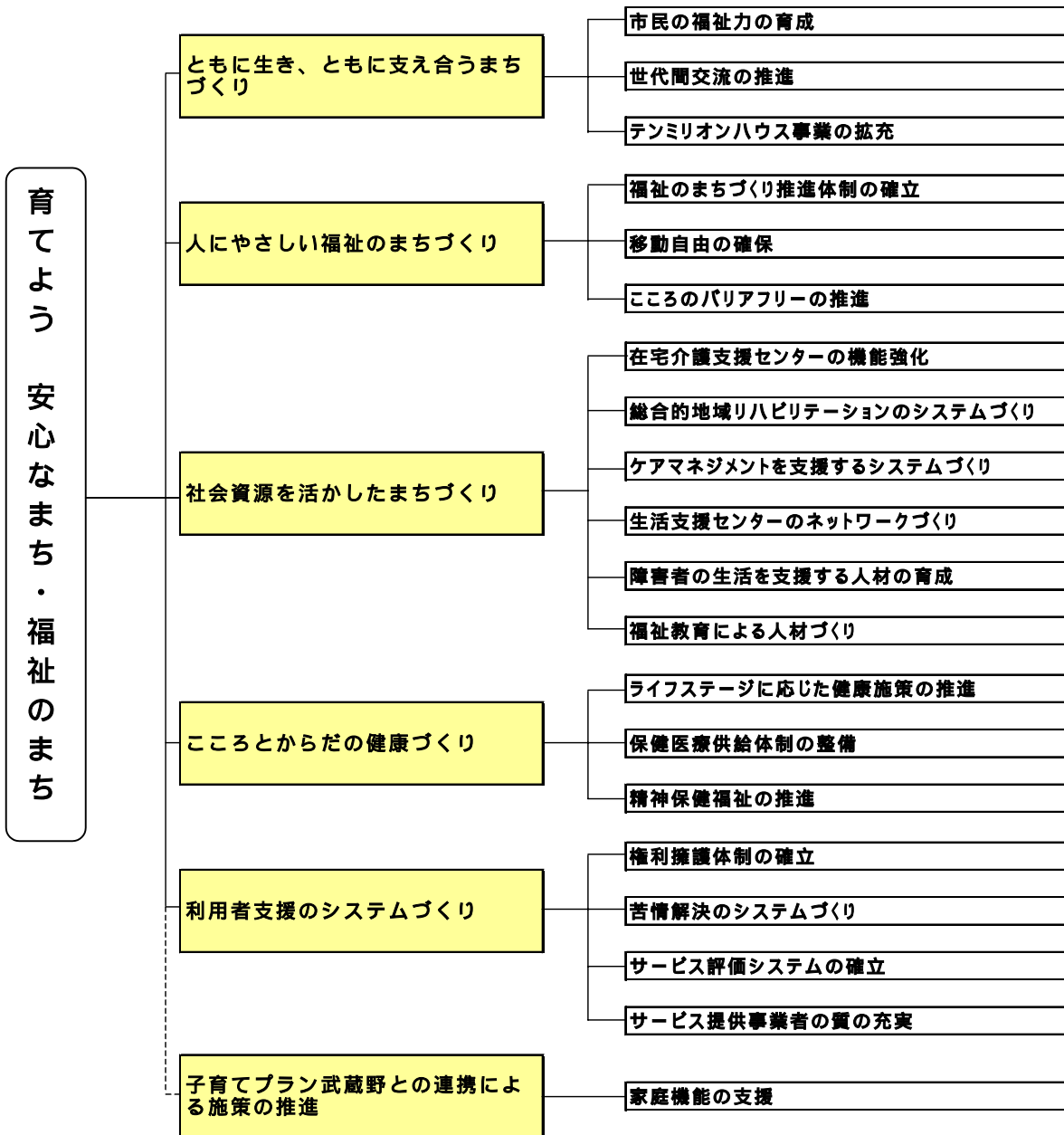
計画期間

- ・ 平成14年度から平成17年度までの4年間

現状の課題

- 1 さらなる少子高齢化 … これまで家族が担ってきた高齢者の見守りや子育て支援といった役割を地域でいかに担うか
- 2 福祉サービスの普遍化 … 今後増大する市民の要望に応え、地域福祉を推進するため、あらゆる施策を福祉的視点で進める必要
- 3 社会福祉基礎構造改革への対応 … 福祉サービス利用者の権利を擁護するシステムの導入やサービスの質の向上のための施策などにどう取り組むか
- 4 介護保険制度への対応 … 在宅介護支援センターの新たな役割、サービスの供給と費用負担の適正化をいかに進めるか
- 5 ネットワーク化への取り組み … 地域社協、在宅介護支援センター、テンミリオnhaus、福祉公社などのつながりをいかに強化し、地域福祉を推進するか
- 6 人材確保 … 次世代を担う多くの市民が参加できるシステム、地域の核となる人材をいかにして育成するか
- 7 福祉のまちづくりへの対応 … 誰もが安心して外出できるまちをつくるため、いかにして市・事業者・市民が連携して取り組むか
- 8 市民参加の促進 … 地域福祉に関する活動への市民参加の方策について、地域づくりへの参加、計画づくりへの参画などの検討が必要
- 9 地方分権の推進 … 行政レベルでの役割分担が明確化される一方で、地域での市・市民・事業者の役割も明確にし、主体的に役割を担うことが必要

体系図



計画の推進に向けて

この計画で、具体的取り組みが、高齢者保健福祉計画など個別計画に委ねられている施策は、個別計画の策定において具体化

今後も、市民懇談会などで得られた市民の声を計画づくりに反映

市民・関係団体・NPOなどと市との協働を進め、同じ土俵の上で豊かな地域福祉を考えられるように、市がもつ情報を、積極的に提供し、情報を共有化

この計画及び個別計画の進捗状況について、施策評価システムの確立を図りながら、適宜公表

平成17年度に着手する計画の改定にあたっては、今後国から示される地域福祉計画策定指針などを参考に、高齢者保健福祉計画など諸計画を一体化